

引用文献拠一覧

最終更新日 2020.3.16

〈凡例〉

- * 翻刻があるものは、つとめてそれを掲げるようにした。
- * 原本によるものは、つとめて画像公開されているものとし、DOI（デジタルオブジェクト識別子）を記した。たとえば「DOI: 10.20730/200016217」と書かれている場合、「<https://doi.org/>」のあとに「10.20730/200016217」を付けて URL 検索すれば、目的の資料が閲覧できる。# 以下の数字は、コマ番号である。

◇序章

第1節

- p.18：『徒然草抄』：「加藤磐斎著『徒然草抄』—「卷第一」の翻刻—」（『金城学院大学論集 国文学編』第四〇号）、吉澤貞人編、一九九七年、p.59

第2節

- p.23：『藤孝事記』：古典文庫・第五六四巻、荒木尚編、一九九三年、p.238
p.23：『耳底記』：日本歌学大系・第六巻、佐佐木信綱編、風間書房、一九五六年、p.180
p.26：『慰草』：『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、pp.999-1000
p.29：『野槌』：『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、pp.867-868
p.32：『慰草』：前出に同じ、p.450

◇第一章

第1節

- p.38：『寿命院抄』：『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、p.13
p.38：『野槌』：『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、p.12
p.39：『邦訳日葡辞書』：森田武編、岩波書店、一九八〇年、p.635
p.39：『合類節用集』：『合類節用集研究並びに索引』、中田祝夫・小林祥次郎編、勉誠社、一九七九年、p.219
p.40：『和句解』：『松永貞徳『和句解』本文と研究』、土井文人編、和泉書院、二〇一五年、p.88

第2節

- p.59：『方丈記』：新編日本古典文学全集 44、神田秀夫校注、小学館、二〇〇八年、p.36
p.61：『磐斎抄』：「加藤磐斎著『徒然草抄』—「卷第一」の翻刻」（『金城学院大学論集 国

- 文学編』第四〇号)、吉澤貞人編、一九九七年、p.47
- p.62 : 『磬斎抄』: 前出に同じ、p.60
- p.64 : 『磬斎抄』: 「加藤磬斎著『徒然草抄』—「卷第二」の翻刻」(『金城学院大学論集 国文学編』第四一号)、吉澤貞人編、一九九八年、p.84
- p.65 : 『寂寞草新註』: 国文学研究資料館高乗勲文庫蔵、DOI: 10.20730/200016217、#90
- p.67 : 『徒然要草』: 「翻刻『徒然要草』(一)」(親和女子大学『研究論叢』第二四号所収)、大坪利絹編、一九九一年、p.55
- p.68 : 『一遍上人語録』: 日本古典文学大系 83 『仮名法語集』、宮坂宥勝校注、岩波書店、一九六四年、p.133
- p.70 : 『太極図説』: 岩波文庫『太極図説・通書・西銘・正蒙』、西晋一郎・小糸夏次郎訳註、岩波書店、一九三八年、pp.28-29
- p.71 : 『磬斎抄』: 「加藤磬斎著『徒然草抄』—「卷第一」の翻刻」(『金城学院大学論集 国文学編』第四〇号)、吉澤貞人編、一九九七年、p.50

コラム

- p.73 : 『懐風藻』: 国文学研究資料館蔵、天和四年刊本、DOI:10.20730/200001771、#48
- p.74 : 『小右記』: 大日本古記録『小右記 三』、東京大学史料編纂所編、岩波書店、一九六四年、p.79
- p.74 : 『小右記』: 同『小右記 五』、同、一九六九年、p.19
- p.75 : 「せつぶん」: 『大蔵虎明能狂言集 翻刻註解』上巻、大塚光信編、清文堂、二〇〇六年、p.498

◇第二章

第1節

- p.78 : 『一言放談』: 日本古典文学大系 83 『仮名法語集』、宮坂宥勝校注、岩波書店、一九六四年、p.207
- p.84 : 『野槌』: 『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、pp.298-299
- p.85-86 : 『慰草』: 『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、pp.781-782
- p.87 : 『文段抄』: 『〈訂正増補〉徒然草文段抄』、鈴木弘恭編、青山堂書店、一九〇一年第一〇版、p.129
- p.87 : 『徒然草集説』: 国文学研究資料館高乗文庫蔵、DOI: 10.20730/200015716、#114
- p.87 : 『徒然草大意読方秘伝抄』: 「〔翻刻〕徒然草大意読方秘伝抄一元禄の古典講釈マニユアルー」(『文献探究』第四二号)、川平敏文著、二〇〇四年、p.55
- p.88 : 『玉勝間』: 『玉勝間』巻下、村岡典嗣校訂、岩波文庫、一九三四年、p.151
- p.89 : 『悟道弁』: 北海道大学蔵、DOI:10.20730/100240183、#27
- p.90 : 『徒然草読本』: 『徒然草読本』巻上、叢書閣、一八八四年、「凡例」2丁表

第2節

- p.100 : 『太平記』 : 日本古典文学大系 35 『太平記 二』、後藤丹治・釜田喜三郎校注、岩波書店、一九六一年、p.355
- p.101 : 『伊水温故』 : 上野市古文献刊行会編、上野市、一九八三年、p.278
- p.104 : 『兼好法師物見車』 : 『近松全集』第六卷、近松全集刊行会編、岩波書店、p.248
- p.105 : 『兼好法師物見車』 : 前出に同じ、p.278
- p.106 : 『徒然夢物語夜講釈』 : 岡田甫校訂、有光書房、一九七四年、p.6
- p.107 : 『野槌』 : 『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、pp.36-37
- p.109 : 『慰草』 : 『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、p.34
- p.109 : 『徒然草大全』 : 国文学研究資料館高乗勲文庫蔵、DOI : 10.20730/200016338、#22-23
- p.110 : 『悟道弁』 : 北海道大学蔵、DOI : 10.20730/100240183、#18
- p.111 : 『徒然草読本』 : 『徒然草読本』卷上、叢書閣、一八八四年、「凡例」2丁表
- p.111 : 『徒然草類選』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/888799、#7
- p.113 : 『にぎはひ草』 : 『新燕石十種』第三卷、朝倉治彦校訂、中央公論社、一九八一年、pp.127-128
- p.114 : 『近代艶隠者』 : 『底本西鶴全集』第一四卷、中央公論社、一九五三年、p.95

◇第三章

第1節

- p.117 : 『寿命院抄』 : 国文学研究資料館高乗勲文庫蔵、DOI : 10.20730/200015457、#70
- p.118 : 『徒然草句解』 : 金城学院大学蔵、DOI : 10.20730/100232802、#112
- p.119 : 『徒然草拾遺抄』 : 未刊国文古註釈大系・第一六冊、吉澤義則編、帝国教育会出版部、一九三五年、p.178
- p.120 : 『徒然草隠解』 : 国立国会図書館蔵、卷七、43-45丁
- p.123 : 依田『徒然草評釈』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/903516、#60
- p.124 : 内海『徒然草評釈』 : 明治書院、一九一二年第四版、p.166
- p.125 : 『方丈記・徒然草』 : 鑑賞日本古典文学・第一八卷、角川書店、一九七五年、p.273
- p.126 : 『二条河原落書』 : 『建武年間記』、群書類従・第二五輯、塙保己一編、続群書類従完成会、一九九一年訂正三版、p.504
- p.131 : 『本朝話者系図』 : 演芸資料選書 11、本朝話者系図の会注、日本芸術文化振興会、二〇一五年、pp.12-13

第2節

- p.136 : 『慰草』 : 『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、p.284
- p.137 : 『諸抄大成』 : 吉澤義則編、立命館大学出版部、一九三一年、p.237
- p.137 : 小中村『標註徒然草読本』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/888858、#39
- p.138 : 依田『徒然草評釈』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/903516、#38

- p.138：内海『徒然草評釈』：明治書院、一九一二年第四版、p.114
- p.140：『西鶴誹諧大句数』：『新編西鶴全集』第五卷上、新編西鶴全集編集委員会編、勉誠出版、二〇〇七年、p.120
- p.141：〔蕪村句〕：『蕪村全集』卷一、尾形侑・森田蘭校注、講談社、一九九二年、p.216
- p.142：川柳：『日本史伝川柳狂句』第一五冊、岡田三面子編、古典文庫、一九七七年、pp.247-258
- p.147：『磐斎抄』：「加藤磐斎著『徒然草抄』—「卷第五」翻刻—」（『金城学院大学論集 国文学編』第四四号所収）、吉澤貞人編、二〇〇一年、p.58
- p.148：『諸抄大成』：前出に同じ、p.240

◇第四章

第1節

- p.154：『白水郎記行』：『白水郎記行・其日くさ』（愛媛大学文学資料集4）、愛媛大学国語国文学研究室、一九九二年、p.31
- p.157：『三暁庵隨筆』：『三十幅』第四冊、国書刊行会、一九一七年、p.158
- p.159：『秘伝抄』：「〔翻刻〕徒然草大意読方秘伝抄一元禄の古典講釈マニュアル」（『文献探究』第四二号所収）、川平敏文著、二〇〇四年、p.60
- p.159：『講筵要集』：「〔翻刻〕徒然種講筵要集一享保の古典講釈マニュアル」（『国文研究』第五三号）、川平敏文著、二〇〇八年、p.60
- p.160：『秘伝抄』：前出に同じ、p.62
- p.160：『講筵要集』：前出に同じ、p.60
- p.161：『秘伝抄』：前出に同じ、p.59
- p.162：『講筵要集』：前出に同じ、p.59
- p.163：『秘伝抄』：前出に同じ、p.61
- p.164：『秘伝抄』：前出に同じ、p.61
- p.165：『秘伝抄』：前出に同じ、p.61
- p.166：『秘伝抄』：前出に同じ、p.61
- p.169：『小僧指南集』：国文学研究資料館蔵、DOI：10.20730/200012460、#3
- p.169：『秘伝抄』：前出に同じ、p.54

第2節

- p.176：『慰草』第28段：『徒然草古注釈集成』、吉澤貞人編、勉誠出版、一九九六年、p.181
- p.176：『慰草』第60段：前出に同じ、p.305
- p.176：『慰草』第221段：前出に同じ、p.910
- p.177：『磐斎抄』：「加藤磐斎著『徒然草抄』—「卷第五」翻刻—」（『金城学院大学論集 国文学編』第四四号所収）、吉澤貞人編、二〇〇一年、p.74
- p.179：『文段抄』：『〈訂正増補〉徒然草文段抄』、鈴木弘恭編、青山堂書店、一九〇一年第

一〇版、p.131

p.179：『徒然草拾穂抄』：『徒然草拾穂抄』巻下（北村季吟古註集成 22）、新典社、一九七七年、pp.450-451

p.181：『徒然草大全』：国文学研究資料館高乗勲文庫蔵、DOI：10.20730/200016338、#30

p.182：『徒然草大全』：前出に同じ、#30-31

p.183：『諸抄大成』：吉澤義則編、立命館大学出版部、一九三一年、p.260

p.185：『鉄槌書入』：『契沖全集』第一六巻、久松潜一校訂、岩波書店、一九七六年、p.177

p.185：『徒然草刪翼』：無窮会神習文庫蔵、13 丁裏

p.186：『安斎随筆』：『故実叢書 安斎随筆』巻二九、吉川半七、一九〇〇年、p.939

p.187：『磐斎抄』：「加藤磐斎著『徒然草抄』—「巻第一」翻刻—」（『金城学院大学論集 国文学編』第四〇号）、吉澤貞人編、一九九七年、p.59

◇第五章

第 1 節

p.194：『犬つれづれ』：『江戸時代文芸資料』第四、国書刊行会、一九一六年、p.1

p.196：『吉原徒然草』：上野洋三校注、岩波文庫、二〇〇三年、p.14

p.199：『にぎはひ草』：『新燕石十種』第三巻、柴田光彦校訂、中央公論社、一九八一年、p.93

p.201：『可笑記』：『仮名草子集成』第一四巻、朝倉治彦・深沢秋男編、東京堂出版、一九九三年、p.241

p.202：『可笑記』：前出に同じ、pp.350-351

p.205：『宝蔵』：『貞門談林俳諧集 二』（古典俳文学大系 2）、小高敏郎校注、集英社、一九七六年第三版、p.30

第 2 節

p.213：『真字寂寞草』：国文学研究資料館蔵、DOI：10.20730/200002217、#8

p.215：『大東世語』：国文学研究資料館蔵、DOI：10.20730/200004331、#101-102

p.217：『明霞先生遺稿』：新潟大学佐野文庫蔵、DOI：10.20730/100263870、#176-178

p.219：『作文志穀』：国文学研究資料館鶴飼文庫蔵、DOI：10.20730/200019319、#29

p.219：『作文率』：新潟大学佐野文庫蔵、DOI：10.20730/100217320、#48

p.220：『作文志穀』：前出に同じ、#38

p.220：『大東世語』：前出に同じ、#114

p.221：『作文率』：前出に同じ、#30-31

p.222：『作文率』：前出に同じ、#31

p.225：『作文率』：前出に同じ、#33

p.227（3 行目）：『芸園鉏莠』：九州大学雅俗文庫蔵、11 丁表

p.227（6 行目）：『芸園鉏莠』：前出に同じ、14 丁表～裏

p.229 : 『駿台雑話』 : 森銚三校訂、岩波文庫、一九九六年第7刷、pp.181-184

◇終章

第1節

p.233 : 『俳諧翊檜』 : 国文学研究資料館蔵、DOI : 10.20730/200005370、#94

p.233 : 『源語梯』 : 国文学研究資料館初雁文庫蔵、DOI : 10.20730/200003388、#89

p.234 : 『詞葉新雅』 : 国文学研究資料館蔵、DOI : 10.20730/200018711、#109

p.234 : 『雅語訳解』 : 国文学研究資料館蔵、DOI : 10.20730/200002955、#34

p.235 : 『玉塵抄』 : 『玉塵抄(7)』(抄物大系・別巻)、勉誠社、一九七一年、p.98

p.235 : 『新可笑記』 : 『井原西鶴集(四)』(新編日本古典文学全集)、小学館、二〇〇〇年、p.532

p.237 : 『雅言小解』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/862656、#48

p.237 : 『ことばの泉』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/862875、#479

p.238 : 『徒然草読本』 : 『徒然草読本』巻上、叢書閣、一八八四年、6丁表

p.240 : 『徒然草講義』 : 『国語講義録』、国語伝習所編、pp.2-3

p.241 : 『文段抄』 : 『〈訂正増補〉徒然草文段抄』 : 鈴木弘恭編、青山堂書店、一九〇一年第一〇版、p.5

p.242 : 『徒然草大意』 : 筑波大学蔵、DOI : 10.20730/100000693、#4-5

p.244 : 「徒然草に兼好を聞く」 : 復刻版『女学雑誌』第三二九甲号、臨川書店、一九六七年、p.25

p.245 : 「徒然草に兼好を聞く」 : 前出に同じ、p.26

p.246 : 「吉田兼好」 : 復刻版『文学界』第一号、日本近代文学研究所、一九六三年、p.7

p.247 : 『文学界前後』 : 『文学的回想集』(現代日本文学全集97)、筑摩書房、一九五八年、p.202

p.248 : 『よもぎふ日記』 : 『樋口一葉全集』第三巻(上)、筑摩書房、一九七六年、p.229

第2節

p.249 : 『鎌倉室町時代文学史』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/871949、#175

p.252 : 大和田建樹『修辞学』 : 国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/864856、#8

p.253 : 内海『徒然草評釈』 : 明治書院、一九一二年第四版、pp.1-2

p.254 : 内海『徒然草詳解』 : 明治書院、一九四九年修正五三版、p.1

p.255 : 袖珍文庫本『徒然草』 : 『つれつれ草／それぞれ草』(袖珍文庫・第二二編)、三教書院、一九一〇年、pp.1-2

p.255 : 『徒然草講話』 : 『徒然草講話』、国立国会図書館蔵、DOI:10.11501/982601、#16

- p.256 : 『徒然草講話』 : 前出に同じ、#16-17
- p.258 : 「国文学と註釈」 : 『国文学の新考察』 (「つれづれ」の意義—国文学と註釈—) と改題収録)、至文堂、一九四一年、p.33
- p.259 : 「国文学と註釈」 : 前出に同じ、p.40
- p.259 : 『美術真説』 : 『明治芸術文学論集』 (明治文学全集 79)、筑摩書房、一九七五年、p.38
- p.260 : 「観照即人生の為也」 : 『抱月全集』 第七卷、一九二〇年、天佑社、p.309
- p.261 : 「徒然草」 : 『無常という事』、角川書店、一九九〇年第四二版、pp.68-70
- p.262 : 「兼好」 : 『唐木順三全集』 第五卷、筑摩書房、一九八一年増補版、p.81
- p.263 : 『類纂評釈徒然草』 : 開文社、一九五六年、p.38
- p.263 : 『徒然草を読む』 : 岩波新書、一九八二年、p.34
- p.264 : 「徒然草」 : 『国文学解釈と鑑賞』 第二六卷一—号、一九六一年、p.69
- p.264 : 『徒然草全注釈』 : 『徒然草全注釈』 上巻、角川書店、一九六七年、p.17
- p.265 : 「「つれづれ」の意味」 : 『思想と文芸』 第二七号、一九六五年、p.59
- p.265 : 「「つれづれ」の誤解」 : 『徒然草通説批判』、世界書院、一九六九年、p.209

以上